

周知文案

以下省力化ナビと生産性向上支援センターの周知文として、以下案文を用意しております
のでご利用いただけますと幸いです。



省力化・生産性向上のヒントが見つかる「省力化ナビ」をリリースしました！

中小機構は、中小企業・小規模事業者の皆さまの人手不足や賃上げ等の課題に対応するため、中小企業庁および関係省庁と連携し、省力化や生産性向上への第一歩を後押しする支援サイト「省力化ナビ」をリリースいたしました。

●省力化ナビはこちら

<https://labour-saving.smrj.go.jp/>

「省力化ナビ」では、飲食業・宿泊業・運輸業・製造業など、業種別の課題とその解決策をイラストで直感的にわかりやすく例示解説。現場でそのまま活かせる具体的な取組事例や、今すぐ着手できる取組ステップを分かりやすくご紹介しています。

さらに、相談先までワンストップで確認できるため、何から始めればよいか分からないという方から、導入ツール候補が決まっている方まで、迷わず次のアクションにつなげることが可能です。

また、「省力化ナビ」の活用は、「中小企業省力化投資補助金（一般型）」、「デジタル化・AI導入補助金（複数者連携デジタル化・AI導入枠を除く）」の採択審査における加点要件となるほか、「観光地・観光産業における省力化投資補助事業」の特定にあたっての優先要件となります。

人手不足や業務効率化に課題をお持ちの皆さま、解決のヒントと具体策が詰まった「省力化ナビ」で、次の一手を見つけてみませんか。

ぜひこの機会にご活用ください！

=====

本件に関するお問合せ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構 経営支援部 企業支援課／ハンズオン支援統括室
(担当者：矢村、宮代)

電話：03-5470-1676（ダイヤルイン）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝



全国のよろず支援拠点に「生産性向上支援センター」を開設しました！

中小企業庁は、2026年4月1日より、各都道府県のよろず支援拠点内に「生産性向上支援センター」を開設しました。

同センターは、中小企業・小規模事業者等の生産性向上（特に労働投入量の効率化）に向けて、複数回（計10回程度を想定）・現場訪問型の徹底した伴走支援を行います。

例えば、「残業が減らず、人が定着しない」、「本当は見直したいが、手作業が当たり前になっている」、「忙しさに追われ、改善に手が付けられない」等のお悩みを抱える中小企業・小規模事業者等に対して、徹底して寄り添います。

生産性向上に関する知識・経験豊富な生産性向上支援サポーター等が、中小企業・小規模事業者等の現場の状況に応じた最適な次の一歩を一緒に考えます。

支援内容の一例として、5Sなど作業環境の整備、ムリムラムダの削減など職場改善、作業プロセス改善、デジタル化、自動化、IoT化、AI活用などがあります。

また、同センターの支援を受け、「生産性向上取組計画」と呼ばれる計画を策定することで、2026年夏頃より、省力化投資補助金（一般型）の採択審査において加点措置を受けられるようになる予定です。

人手不足でお困りの中小企業・小規模事業者等の皆様におかれては、積極的に同センターの活用をご検討ください。

プレスリリース：

<https://www.meti.go.jp/press/2026/04/20260401001/20260401001.html>

概要チラシ：

https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/network/download/yorozu_shien_center.pdf

【簡潔版】省力化ナビ



省力化・生産性向上のヒントが見つかる「省力化ナビ」をリリースしました！

中小機構は、「省力化投資促進プラン」の一環として、中小企業・小規模事業者の人手不足や賃上げ等の解決を支援するサイト「省力化ナビ」をリリースしました。

●省力化ナビはこちら

<https://labour-saving.smrj.go.jp/>

省力化や生産性向上に関連する業種別の課題と解決策をイラストで分かりやすく例示し、現場で活かせる事例や取組ステップ、相談先までワンストップで確認が可能なため、「何かから始めるべきか」を検討する際のヒントが得られます。

さらに、省力化ナビの活用で、各種補助金の加点や優先事項にも該当するメリットがあります。

人手不足・業務効率化にお悩みの方は、ぜひご活用ください！

=====

本件に関するお問合せ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構 経営支援部 企業支援課／ハンズオン支援統括室
(担当者：矢村、宮代)

電話：03-5470-1676 (ダイヤルイン)

=====